

クラウド連携アプリケーション for kintone 取扱説明書

- ・ サイボウズ、および kintone は、サイボウズ株式会社の登録商標または商標です。
 - ・ その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。・ このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。・ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。 |
|---|

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の表記

- 本書では、ハードディスクやソリッドステートドライブなどを総称して「ストレージ」と表記します。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。



補足

操作の参考になる情報を記載しています。



参照

参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	<ul style="list-style-type: none">・ 本書内にある参照先を表しています。・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	<ul style="list-style-type: none">・ 参照するマニュアルを表しています。
[]	<ul style="list-style-type: none">・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	<ul style="list-style-type: none">・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	<ul style="list-style-type: none">・ 機械の操作パネルのハードウェアボタンを表しています。
< > キー	<ul style="list-style-type: none">・ コンピューターのキーボードのキーを表しています。
>	<ul style="list-style-type: none">・ 操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

1 「クラウド連携アプリケーション for kintone」を利用するまでの流れ

「クラウド連携アプリケーション for kintone」は、複合機でスキャンしたデータをサイボウズ社のクラウド型サービス「kintone」にアップロードする機能を提供します。

サービスの申し込みについて

本サービスを利用するには、kintone のスタンダードコースのお申し込みが必要です。

ご契約者（管理者）の手順について

必要なサービスのお申し込みが完了したら、次の手順で操作してください。

1. 複合機とコンピューターの動作環境を確認する

 参照

・詳しくは、「2 動作環境について」(P.5) を参照してください。

2. 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の初期値を設定する

インターネットサービスで「クラウド連携アプリケーション for kintone」の初期値を設定します。

 参照

・詳しくは、「3 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の初期設定（管理者の操作）」(P.7) を参照してください。

2 動作環境について

複合機の環境

「クラウド連携アプリケーション for kintone」は、次の環境で動作します。

お使いの複合機の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- ・ ストレージ搭載機
- ・ システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- ・ スキャナーキット搭載機
- ・ ファクスキット搭載機（ファクス機能を使用する場合のみ）

お使いの複合機が、ストレージ、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。

- 1 [機械確認] > [詳細情報] を押します。
- 2 [機械構成] を押します。
- 3 [ストレージ] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。

複合機の設定

複合機の機械管理者モードに入って、下記の設定を確認、変更してください。

注記

- ・ kintone と通信を行うため、インターネットに接続できる必要があります。詳しくは、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

SOAP

[ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] > [SOAP- ポート] : 起動

[ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] > [SOAP- ポート番号] : 80

組み込みプラグイン機能

有効

カスタムサービス設定

有効

Port9100

[ネットワーク設定] > [ポート設定] > [Port9100] : 起動

注記

- ・ kintone に保存された文書をプリントする場合は、Port9100 を有効にしてください。

ファクス文書の保存先設定

[ファクス設定] > [ファクス動作制御] > [受信回線別ボックスセレクター] : 有効

[ファクス設定] > [受信文書の保存先 / 排出先] > [受信回線別ボックスセレクター] : 保存先ボックスを指定

注記

- ・ 受信したファクス文書を kintone に転送する場合は、ファクス文書の保存先を設定してください。

インターネットサービスの設定

追加型アプリの有効化設定

有効

3 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の初期設定（管理者の操作）

管理者は、インターネットサービスで表示される [プラグイン設定] 画面で、「クラウド連携アプリケーション for kintone」の運用と管理を行います。

kintone（クラウドサービス側）で事前に設定する

kintone（クラウドサービス側）であらかじめ必要な設定を行ってください。設定の手順については、kintone のマニュアル をご確認ください。

インターネットサービスで設定する

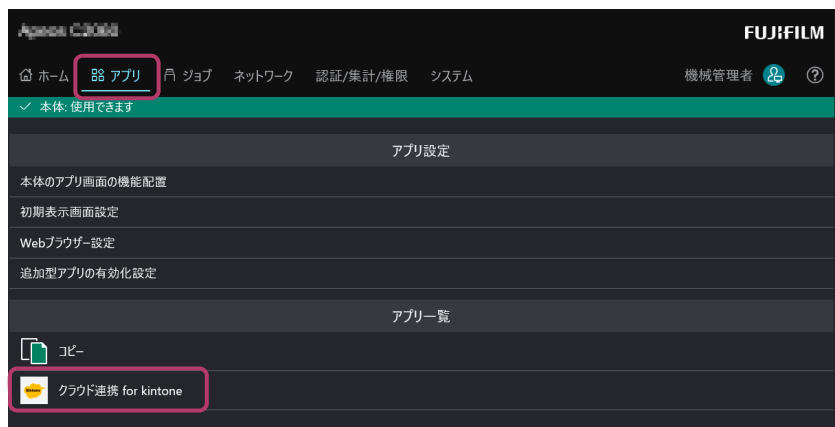


注記

- ・インターネットサービスで設定された内容に従って kintone と通信を行います。設定内容が正しくないと通信ができないため、十分に注意して設定を行ってください。

設定画面を表示する

- 1 コンピューターで Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。
インターネットサービスが起動します。
- 3 機械管理者モードにします。
- 4 [アプリ] をクリックし、[アプリ一覧] で [クラウド連携 for kintone] を選択します。



5 「利用プラグイン」で「表示」をクリックします。



クラウド連携アプリケーション for kintone の設定画面が表示されます。

サブドメインを指定する

- 1 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の設定画面を表示します。



・「設定画面を表示する」(P.7)

- 2 「サブドメイン名」をクリックします。

- 3 接続先の kintone のサブドメイン名を入力します。

- 4 「保存」をクリックします。

スキャンとプリントを設定する

- 1 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の設定画面を表示します。




・「設定画面を表示する」(P.7)

- 2 「スキャン・プリントアプリ設定」の「アプリ設定 N」をクリックします。



- ・登録できるアプリは、最大で3つまでです。
- ・登録済みのアプリ設定を押すと、設定した内容を編集できます。

- 3 次の項目を設定します。

項目	説明
アプリ ID	<p>文書の保存先となる kintone アプリの ID を入力します。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのアプリ ID に対して、同じ ID を指定することはできません。 ・[ファクスアプリ設定] の [アプリ ID] と同じ ID を指定することはできません。先に入力した ID が有効になります。

項目	説明
本体操作パネル上でリスト表示するフィールドコード	kintone アプリの以下のフィールドのフィールドコードを入力します。スキャンやプリントをするときに、該当のフィールドがレコード一覧画面で表示されます。 対象のフィールド：「レコード番号」、「作成者」、「作成日時」、「更新者」、「更新日時」、「文字列（1行）」、「数値」、「計算」、「チェックボックス」、「ラジオボタン」、「ドロップダウン」、「複数選択」、「日付」、「時刻」、「日時」、「ユーザー選択」、「カテゴリー」、「ステータス」、「作業者」、「ルックアップ」、「組織選択フィールド」、「グループ選択フィールド」
文書保存先	kintone アプリの「添付ファイル」フィールドのフィールドコードを入力します。スキャンするときに、該当のフィールドがスキャン文書の保存先になります。
コメント保存先	kintone アプリの「文字列（1行）」フィールドのフィールドコードを入力します。スキャンするときに、該当のフィールドがコメントの保存先になります。

4 [保存] をクリックします。

ファクスを設定する

1 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の設定画面を表示します。



- ・「設定画面を表示する」(P.7)

2 [ファクスアプリ設定] をクリックします。



- ・登録できるアプリは、最大で1つまでです。
- ・登録済みのアプリ設定を押すと、設定した内容を編集できます。

3 次の項目を設定します。

項目	説明
アプリ ID	受信したファクス文書の保存先となる kintone アプリの ID を入力します。 注記 ・[スキャン・プリントアプリ設定] の [アプリ ID] と同じ ID を指定することはできません。先に入力した ID が有効になります。
受信ボックス	ファクス文書の保存先として設定したボックスの番号を入力します。 参照 ・「ファクス文書の保存先設定」(P.5)
kintone ログイン情報	ファクス文書を転送するときに使用する kintone のログイン名とパスワードを入力します。
文書保存先	kintone アプリの「添付ファイル」フィールドのフィールドコードを入力します。ファクスするときに、該当のフィールドがファクス文書の保存先になります。
文書のファイル種別	ファクス文書の保存形式を選択します。
文書情報の保存先	[電話番号保存フィールドコード] および [G3ID 保存フィールドコード] には、kintone アプリの「文字列（1行）」フィールドのフィールドコードを入力します。 [受信日時保存フィールドコード] には、kintone アプリ内の「日時」フィールドのフィールドコードを入力します。 ファクスするときに、該当のフィールドがファクス送信元情報の保存先になります。

項目	説明
備考	【備考欄として使用するフィールドコード】には、kintone アプリの「文字列（1行）」フィールドのフィールドコードを入力します。 【備考欄に入力する固定文字列】には、【備考】フィールドに格納する固定文字列を入力します。

4 [保存] をクリックします。

5 確認画面の内容を確認し、[はい（保存する）] をクリックします。

4 文書のスキャン/プリント (ユーザー操作)

「クラウド連携アプリケーション for kintone」で文書をスキャン/プリントする操作を説明します。

文書をスキャンして kintone に保存する

1 アプリ画面で [クラウド連携 for kintone] を押します。



・複合機の認証機能を利用している場合は、[クラウド連携 for kintone] を押す前に認証を行います。

2 kintone のアカウント情報を入力し、ログインします。



・複合機の認証機能を利用している場合は、初回ログインに成功すると kintone の認証情報が複合機に保存され、次のログインからログイン名とパスワードの入力が不要になります。

3 [スタート] を押します。

4 アプリを選択します。



・管理者設定でアプリが 1 つしか登録されていない場合、この画面は表示されません。

5 表示されたリストから、スキャン文書を保存したいレコードを選択します。



・[新規登録] を押すと新しいレコードが追加され、そのレコードにスキャン文書が保存されます。

6 添付ファイルとしてレコードに保存するスキャン文書のファイル名を入力します。

- (1) [ファイル名] を押します。
- (2) ファイル名を入力し、[OK] を押します。

7 レコードにコメントを残したい場合は、コメントを入力します。

- (1) [コメント] を押します。
- (2) コメントを入力し、[OK] を押します。

8 必要に応じてスキャンの設定を変更します。

項目	説明
プレビュー	スキャン後にプレビューを表示するかどうかを選択します。
ファイル形式	出力するファイル形式を選択します。
カラーモード	カラーモードを選択します。
両面原稿送り	原稿が片面か両面かを選択します。
読み取り解像度	解像度を指定します。
原稿セット向き指定	原稿の向きを選択します。
ミックスサイズ原稿送り	複数サイズの原稿を読み取るかどうかを選択します。



・この画面に表示されない項目は、複合機側の設定に従います。

9 スキャンする文書を複合機にセットし、[スキャン] を押します。



・スキャンが成功したかどうかについては、アプリ画面の [ジョブ情報] から確認できます。

kintone に保存された文書をプリントする

1 アプリ画面で [クラウド連携 for kintone] を押します。



・複合機の認証機能を利用している場合は、[クラウド連携 for kintone] を押す前に認証を行います。

2 kintone のアカウント情報を入力し、ログインします。



・複合機の認証機能を利用している場合は、初回ログインに成功すると、kintone の認証情報が複合機に保存され、次のログインからログイン名とパスワードの入力が不要になります。

3 [スタート] を押します。

4 アプリを選択します。



・管理者設定でアプリが 1 つしか登録されていない場合、この画面は表示されません。

5 表示されたリストから、プリントしたい文書が保存されているレコードを選択します。

6 プリントしたいファイルを選択します。



・プリント可能な形式のファイルだけが表示されます。指定されたレコードに保存されているファイルが 1 つだけの場合は、選択画面は表示されません。

7 必要に応じてプリントの設定を変更します。

項目	説明
部数	印刷する部数を指定します。
カラーモード	カラーモードを選択します。
両面 / 片面選択	両面印刷を行うかどうかを選択します。
まとめて 1 枚 (N アップ)	1 枚に 2 ページまたは 4 ページをまとめて印刷するかどうかを選択します。
出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを確認できます。設定の変更はできません。



・この画面に表示されない項目は、複合機側の設定に従います。

8 [プリント] を押します。

5 設定情報のエクスポート / インポート

エクスポート / インポートの概要

「複合機追加型アプリケーション設定複製」を使用すると、「クラウド連携アプリケーション for kintone」の設定情報をコンピューターに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。設定をコンピューターに保存することを「エクスポート」、保存した設定を複合機に複製することを「インポート」と呼びます。

複製できる設定情報

エクスポート / インポートで複製できる設定情報は、次のとおりです。

- ・ クラウド連携アプリケーション for kintone
 - サブドメイン設定
 - スキャン・プリントアプリ設定
 - ファクスアプリ設定

補足

- ・ アプリ画面の [クラウド連携 for kintone] を押したあとに入力する kintone のアカウント情報は、複合機に保存されていてもエクスポート / インポートできません。

ファクスアプリ設定をインポートしたときの注意

ファクスアプリ設定をインポートした場合は、インポート先の複合機に対して、インターネットサービスから次の操作を必ず行ってください。

1 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の設定画面を表示します。

参照

- ・ 詳しくは、「設定画面を表示する」(P.7) を参照してください。

2 [ファクスアプリ設定] をクリックします。

3 インポートされた情報が表示されるので、内容を確認して [保存] をクリックします。

6 トラブル対処

トラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
対処方法を実施してもエラーが解決しない場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

こんなときは

操作パネルのエラーメッセージ

複合機の操作パネルにエラーメッセージが表示された場合の対処方法を説明します。

エラーメッセージ	対処方法
エラーが発生しました。繰り返し発生する場合は管理者へ連絡してください。	本メッセージが表示された場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・複合機のプロキシサーバー設定または DNS 設定が正しいか確認してください。 ・ネットワーク環境が kintone に接続できる設定になっているか確認してください。 ・複合機の [Port9100- ポート] を [起動] に設定してください。
kintone との通信中にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・複合機の [SOAP- ポート] を [起動] に設定してください。 ・複合機の [SOAP- ポート番号] を [80] に設定してください。 ・対応プラグインが [無効] になっている可能性があります。[有効] に設定してください。

インターネットサービスのエラーメッセージ

インターネットサービスにエラーメッセージが表示された場合の対処方法を説明します。

エラーメッセージ	対処方法
複合機本体と通信できません。	本メッセージが表示された場合は以下を実施し、状況が改善するか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・複合機の電源がオンになっていることを確認してください。 ・ネットワークの設定を確認してください。
内部でエラーが発生しました。	対応プラグインが無効になっている可能性があります。 [システム設定] > [プラグイン設定] から [組み込みプラグイン機能] を有効に設定してください。

ジョブ一覧で異常終了が発生した場合の対処方法

ジョブ管理画面で「クラウド連携アプリケーション for kintone」のジョブがエラーになった場合は、以下を確認してください。

補足

- ・ kintone の設定については、「8 注意 / 制限事項」(P.17) を参照してください。

ジョブ	確認事項
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジョブを実行するときに使用するkintoneのログイン名/パスワードが正しいことを確認してください。 ・ 1 文書あたりのファイルサイズが 1 GB 以下であることを確認してください。 ・ kintone の最大ディスク容量を超えていないことを確認してください。 ・ 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の運用を開始したあとにサブドメイン名を変更した場合は、次のジョブを実行する前に初期設定からやり直してください。 ・ スキャン・ファクスジョブを実行するときは、レコードを追加、編集、および閲覧する権限があることを確認してください。
スキャン・プリントジョブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ kintone アプリに必須項目がある場合は、必須項目のフィールドコードが [スキャン・プリントアプリ設定] > [コメントフィールドコード] に正しく設定されていて、スキャン画面でコメントが入力されていることを確認してください。 ・ [文書保存フィールドコード] に kintone の「添付ファイル」フィールドのフィールドコードが指定されていることを確認してください。
ファクスジョブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ kintone アプリに必須項目がある場合は、必須項目のフィールドコードが [ファクスアプリ設定] > [備考欄として使用するフィールドコード] に正しく設定されており、[備考欄に入力する固定文字列] に文字列が設定されていることを確認してください。 ・ [文書保存フィールドコード] に kintone の「添付ファイル」フィールドのフィールドコードが指定されていることを確認してください。

7 バージョンアップについて

Management Consoleを使用することで本アプリケーションをバージョンアップ(アップデート)できます。

Management Console の対応機種やダウンロードは弊社公式サイトの商品情報ページをご覧ください。

インストール方法および利用方法は、商品情報ページからダウンロードページに移動し、「ご利用に際して」ページにある「Management Console readme」をご覧ください。



注記

- ・ Management Console からバージョンアップするためには、あらかじめ対象の有償商品がインストールされている必要があります。

8 注意 / 制限事項

本機能を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。



- ・最新の情報は、サポートページを参照してください。

注意

kintone 設定に関する注意

- ・ スキャン文書を kintone に保存する場合や kintone に保存されたファイルをプリントする場合は、[スキャン・プリントアプリ設定] で設定する以下の情報に対して kintone アカウントのアクセス権 (追加・閲覧・編集) が必要です。

- [アプリ ID]
- [本体操作パネル上でリスト表示するフィールドコード]
- [文書保存フィールドコード]
- [コメントフィールドコード]

アクセス権がない場合は、スキャン文書を kintone に保存したり、kintone に保存されたファイルをプリントしたりできません。

これらの情報へのアクセスには、「クラウド連携アプリケーション for kintone」起動時のログイン画面で入力した kintone アカウントが使用されます。

- ・ スキャン文書を kintone に保存する場合は、[スキャン・プリントアプリ設定] で設定する以下のフィールドの初期値は適用されません。

- [コメントフィールドコード]

- ・ ファクス文書を kintone に保存する場合は、[ファクスアプリ設定] で設定する以下の情報に対して kintone アカウントのアクセス権 (追加・閲覧・編集) が必要です。

- [アプリ ID]
- [文書保存フィールドコード]
- [文書情報の保存先]

アクセス権がない場合は、ファクス文書を kintone に保存できません。

これらの情報へのアクセスには、[ファクスアプリ設定] > [kintone ログイン情報] で設定した kintone アカウントが使用されます。

- ・ ファクス文書を kintone に保存する場合は、[ファクスアプリ設定] で設定する以下のフィールドの初期値は適用されません。

- [電話番号保存フィールドコード]
- [G3ID 保存フィールドコード]
- [受信日時保存フィールドコード]
- [備考欄として使用するフィールドコード]

管理者設定に関する注意

- 複合機の認証方法を変更した場合は、必ず「クラウド連携アプリケーション for kintone」の管理者設定画面で、「認証情報のキャッシュの削除」を実行してください。予期せず他のユーザーの kintone アカウントでログインしてしまうことがあります。

6d 参照

- ・「認証情報を削除する」(P.19)
- ・管理者設定画面の「基本設定」で「サブドメイン名」を変更した場合は、「スキャン・プリントアプリ設定」および「ファクスアプリ設定」についても設定を確認のうえ、変更および保存してください。

制限事項

kintone 設定に関する制限事項

- 新規レコードを追加してスキャン文書やファクス文書を kintone に保存するとき、保存先の kintone アプリに必須項目として設定されているフィールドがある場合は、必須項目のフィールドにファイルが保存されるように管理者設定画面で設定してください。
- kintone アプリに必須項目のフィールドが複数ある場合は、新規レコードを追加できません。
- kintone アプリに文字数の範囲が設定されている場合、または「値の重複を禁止する」が有効になっているフィールドが含まれている場合は、スキャン文書やファクス文書を kintone に保存できないことがあります。

プリントに関する制限事項

- パスワード付きの PDF/DocuWorks ファイルは、プリントできません。
- [まとめて 1 枚 (N アップ)] で [2 アップ] または [4 アップ] を選択した場合は、お使いの複合機の [システム設定] > [その他の設定] > [プリント用紙サイズ初期値] で設定した用紙サイズが自動的に選択されます。
- 定型サイズではない PDF/DocuWorks ファイルをプリントする場合は、お使いの複合機の [システム設定] > [その他の設定] > [プリント用紙サイズ初期値] で設定した用紙サイズが自動的に選択されます。

ファクスに関する制限事項

- ジョブが異常終了した場合、ファクス文書は kintone に送信されずにボックス内に残ります。その場合、次の手順に従って文書を手動で送信してください。
 - (1) アプリ画面で [ボックス操作] を押します。
 - (2) [ファクスアプリ設定] > [受信ボックス] で設定したボックス番号を選択します。
 - (3) kintone に転送する文書を選択し、[ジョブフローを実行する] を選択します。
 - (4) [ジョブフローを選択して実行] 画面で、[kintone ファクス転送設定] が表示されていることを確認し、[スタート] を押します。
- 「クラウド連携アプリケーション for kintone」はファクス回線別ボックスセレクトアを使用するため、同じ回線または同じボックスを使用する他の追加型アプリケーションと同時に使用することはできません。

外部認証に関する注意と制限

- 外部認証 (LDAP、Azure Active Directory) では、ユーザー毎にスキャン機能の利用を制限することはできません。

9 付録

認証情報を削除する

認証ユーザーが「クラウド連携アプリケーション for kintone」を起動して kintone に初めてログインすると、kintone の認証情報が複合機に保存され、次回のログインからログイン名とパスワードの入力が不要になります。

複合機に保存された kintone の認証情報を削除したい場合は、機械管理者がインターネットサービスから次の操作を行ってください。

- 1 「クラウド連携アプリケーション for kintone」の設定画面を表示します。

 参照

・「設定画面を表示する」(P.7)

- 2 「認証情報のキャッシュの削除」をクリックします。

動作履歴のダウンロードについて

インターネットサービスから確認できる「動作履歴のダウンロード」画面は、故障やトラブルが発生したときに、弊社のカスタマーエンジニアが原因を解析するために使用します。通常お客様が使用することはありません。